

(国歌) 君が代

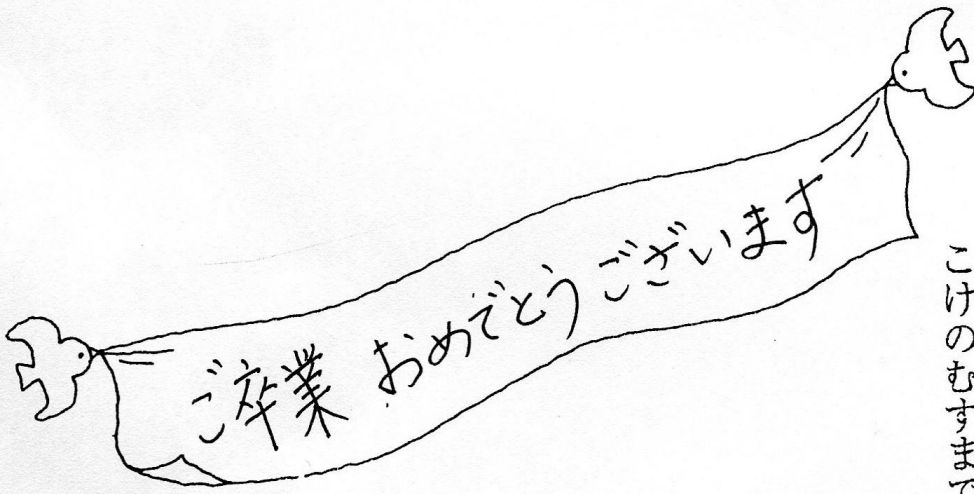
君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

いわおとなりて

こけのむすまで



絆

① いつまでもこのままで

続いていると思つてた

毎日過ごしてきた

あたりまえの光景

思い出は与えられるものじゃなく

自分で刻んでゆくものだと

ひとつひとつ乗り越え輝く

僕らの絆

ありがとう やさしさを

ありがとう 勇気を

君と僕との大切なだからもの

② おはようと声かけた

明るい声と笑顔

いっしょに過ごしてきた

忘れられない時間

どんなことだって 一生懸命

全力で進んでく すばらしさ

ひとつひとつ刻まれ深まる

僕らの絆

ありがとう 生まれたこと

ありがとう 出会えたこと

君と僕との大切なだからもの

旅立ちの日に

懐かしい友の声 ふとよみがえる

意味もないいさかいに 泣いたあのとき

心かよったうれしさに 抱き合った日よ

みんなすぎたけれど 思い出強く抱いて

勇気を翼にこめて希望の風にのり

このひろい大空に夢をたくして

「いま、別れるとき

飛び立とう未来信じて

※弾む若い力信じて

このひろい

「このひろい大空に

※繰り返し

退場の時に歌います。

絆①②(サビなし)の後

「旅立ちの日に」の二番から

歌います。

